

はじめに、「問1～問3」では、アンケートをお送りしたすべての自治体にお答え頂きたい項目について、お聞きします。

問1. 基本情報

(1) 自治体名：_____

(2) 九州電力川内原子力発電所からの距離 概ね_____km～_____km

問2. 貴自治体は、原子力災害時の住民の避難計画を策定していますか？

はい 策定年月日：_____年_____月_____日

名称：_____

いいえ → 今後策定の予定はありますか？ (はい いいえ)

問3. 貴自治体は、原子力災害時の避難住民の受け入れ先になっていますか？

はい

いいえ

⇒問2で「はい」にチェックされた場合、問4～問11 および問18の設問にお答えください。

⇒問3で「はい」にチェックされた場合、問12～問18の設問にお答えください。

⇒問2および問3の双方で「はい」にチェックされた場合、問4～問18の設問にお答えください。

「問4～問11」では、「問2」で「はい」（避難計画を策定している）とした自治体にお答えいただきたい項目について、お聞きします。

問4. 避難計画に関して、住民の意見を聴きとるためにどのような手法を用いていますか？（複数回答可）

説明会の開催

アンケートの実施

個別ヒアリング

その他（_____）

問5. 避難計画に対する住民の受け止め方をどのように認識されていますか？

- 避難計画に対して納得している住民が多い
- 避難計画に対して納得していない住民が多い
- どちらともいえない

※その理由

- わからない

問6. 住民からどのような意見がだされていますか？ (複数回答可)

- 避難範囲を 30km から広げてほしい
- 避難先を見直してほしい
- 避難経路を見直してほしい
- 避難先を増やしてほしい
- 要援護者の避難計画を充実させてほしい
- 複合災害への対応を充実させてほしい
- その他

問7. 入院患者や入所者を有する病院や社会福祉施設への説明会・ヒアリング・アンケート等は実施されていますか？ (複数回答可)

- 説明会を実施
- ヒアリングを実施
- アンケートを実施
- いずれも実施していない

問8. 入院患者や入所者を有する病院や社会福祉施設が主体となって定める避難計画の策定状況はどのようになっていますか？

- 把握していない
- 概ね 90%以上の施設は策定済み
- 50～90%程度の施設は策定済み
- 10～50%程度の施設が策定済み
- 策定済みの施設は 10%以下
- その他 ()

問9. 2014年9月12日付の原子力防災会議の資料（別添）について、県・国等から説明を受けましたか？

はい（ ____月 ____日に _____から説明を受けた）

いいえ

問10. 国は、「予定していた避難先の空間線量率が比較的高い場合や、何らかの理由で使用できない場合には、鹿児島県は、関係市町村と調整して、他の避難先を調整」する方針としています（別添資料のスライド43枚目）。これについておうかがいします。

(1) このことについて、県・国等から説明を受けましたか？

はい（ ____月 ____日に _____から説明を受けた）

いいえ

(2) これは貴自治体の避難計画に反映されていますか？

すでに反映されている

まだ反映されていない

(3) この方針は、避難先があらかじめ定めた場所から変わりうるということになりますが、貴自治体としてのお考えをおきかせください。

特段の問題はない

問題がある

※問題の内容：

--

その他（ _____ ）

問11. 同資料によれば、10キロ以遠の要援護者の入所・入院している施設については、具体的な避難先は定めず、事故が生じたあと、コンピュータ・システムで避難先を調整するとしています（別添資料のスライド48・49枚目）。

(1) このことについて、県・国等から説明を受けましたか？

はい（ ____月 ____日に _____から説明を受けた）

いいえ

(2) これは貴自治体の避難計画に反映されていますか？

- すでに反映されている
まだ反映されていない

(3) この方針に関して、貴自治体としてのお考えをおきかせください。

- 特段の問題はない
問題がある

※問題の内容：

--

- その他 ()

「問 12～17」では、「問 3」で「はい」(受け入れ先になっている)とした自治体にお答えいただきたい項目について、お聞きします。

問 12. 原子力災害時の避難受け入れ計画を策定していますか？

- 策定している ⇒ (年 月 日に策定)
策定していない⇒これから策定する 策定の予定はない

問 13. 避難住民や車両のスクリーニング(汚染検査)および除染の場所は決まっていますか？

- はい ⇒場所：()
いいえ

問 14. 9月12日付の原子力防災会議の資料(別添)について、県・国等から説明を受けましたか？

- はい (月 日に _____ から説明を受けた)
いいえ

問 15. 同資料によれば、「避難退域時検査・除染については、原則として避難先となる市町に一カ所ずつ設置する救護所等で実施」(別添資料のスライド 75 枚目)となっています。

(1) このことについて、県・国等から説明を受けましたか？

- はい (月 日に _____ から説明を受けた)
いいえ

(2) このような「救護所」はすでに決まっていますか？

はい いいえ

(3) この方針に関して、貴自治体としてのお考えをおきかせください。

特段の問題はない

問題がある

※問題の内容：

その他 ()

問 16. 国は、「予定していた避難先の空間線量率が比較的高い場合や、何らかの理由で使用できない場合には、鹿児島県は、関係市町村と調整して、他の避難先を調整」する方針としています（別添資料のスライド 43 枚目）。これについておうかがいします。

(1) このことについて、県・国等から説明をうけましたか？

はい (____月 ____日に _____ から説明をうけた)

いいえ

(2) この方針では、当初予定していなかった自治体からの受け入れが生じるということになりますが、貴自治体としてのお考えをおきかせください。

特段の問題ない

問題がある

※問題の内容：

その他 ()

問 17. 同資料によれば、10 キロ以遠の要援護者の入所・入院している施設については、具体的な避難先は定めず、事故が生じたあと、コンピュータ・システムで受け入れ先を調整するとしています（別添資料のスライド 48・49 枚目）。

(1) このことについて、県・国等から説明をうけましたか？

はい (____月 ____日に _____ から説明をうけた)

いいえ

